

参議院議長 山崎正昭様

**安保関連法案は、海外で戦争をするための戦争法案であり、平和憲法を破壊します。
すみやかな廃案を求めます。**

【請願趣旨】

安倍晋三内閣は、2015年5月14日、多くの人々の反対の声を押し切って、自衛隊法など既存10法を一括して改正する「平和安全法制整備法案」と新設の「国際平和支援法案」を閣議決定し、15日国会に提出しました。

この2つの法案は、これまで政府が憲法9条の下では違憲としてきた集団的自衛権の行使を可能にし、米軍などが起こした戦争に自衛隊が地理的限定なく参加するなど、憲法9条をかたくなに破壊するものであり、まさしく戦争法案と呼ばれるべき内容です。しかも、安倍内閣は、4月27日に現行安保条約の枠組みをも超える「グローバルな日米同盟」をうたう新たな日米防衛協力の指針（ガイドライン）を取り交わし、29日の安倍首相による米国両院議員の前での演説では、法案の「この夏中の制定」を、「約束」するなど、国民主権を踏みにじり、「国権の最高機関」たる国会の審議をないがしろにする形で、強引に法制化を進めようとしています。

日本国憲法は過去の悲惨な侵略戦争と軍国主義の政治を反省し、平和と民主主義を願う人びとの切実な声を基礎にして生まれました。戦争のない平和なアジアと世界を願う私たちは、憲法9条を破壊し、国民主権、議会制民主主義もないがしろにする法案を絶対に認めません。あわせて明文改憲に反対し、平和憲法を守り、生かすことを強く求めます。

- 【請願事項】**
1. 安保関連法案（戦争法案）のすみやかな廃案を求めます。
 2. 日本国憲法9条を守り、生かすことを求めます。

名 前	住 所

【第4次集約 2015年7月末日】

取り扱い団体

署名集約先

九条の会 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7 神田中央ビル 303 電話 03-3221-5075